

# サンガーデン便り

平成 24 年 11 月号

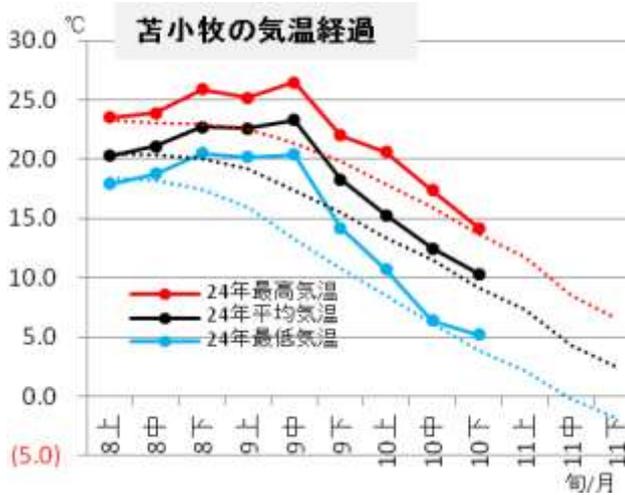


## 館内の見どころ

館内では温州ミカン、柿が色づき、サザンカ、ツバキはきれいな花を開いています。

## 苫小牧の気象

11月は総じて気温は高めですが、日照は少な目で降水量もやや多めと予報されています。



## 園芸講座・展示会の開催案内

★11月3日(土)～4日(日)

### 苫小牧菊花同好会「菊花展」

午前9時30分～午後5時、場所：1階展示実習室

★11月10日(土)～11日(日)

### 苫小牧蘭友会「ラン展示会、講習会」

午前9時30分～午後5時、場所：1階展示実習室

★11月11日(日)

### サンガーデン落葉堆肥づくり講習実演会

午前9～10時 場所：文化公園西駐車場傍

## 11月の園芸作業

室内園芸に移行しますが、植物にはそれぞれ適する温度と湿度が違います。温度が高すぎると、植物の寿命や花の鑑賞期間を短くなるので、置き場所に注意しましょう。

★鉢花・鉢植え花木・球根類 ハイビスカスなどの熱帯性の鉢花は暖かい明るい部屋におき、日中は十分

に窓越しの太陽の光を十分与えるようにします。ピラカンサ、センリョウ、マンリョウなど実つきの鉢は低温の場所に置き長く実を楽しみましょう。プリムラ類、シクラメンは暑さを嫌うので、日当たりが良く日中20℃を超えない所で管理します。ダリアの球根掘上げ、チューリップの植え付けは上旬に終わらせます。ダリアの球根は、土つきのまま、乾かさないようにモミガラやバーミキュライトを詰めたビニールに入れ、凍らない場所にしまっておきます。

★観葉植物 熱帯性の観葉植物は、明け方の室内の最低気温が15℃以上を保っているときは、水やりと施肥は夏と同じように行います。室内が乾燥している場合は時々霧吹きをしてあげましょう。部屋に暖房がなく10℃以下に下がる場合は施肥を止め、水やりは地表面の土が乾いてから数日後に行うようにします。

★洋ラン コチョウランやデンファレなど高温性の種類は最低温度18℃以上で管理します。シンビジュウムやデンドロビウムなどは、室温が高すぎると花芽の分化や生長が阻害されます。シンビジュウムの花蕾は15℃前後で発育が良く、23℃以上では黄変し落蕾することがあります。肥料は新葉が伸び生長が続いているものには液肥を与えますが、大方の種類では必要がありません。

★家庭菜園 菜園の跡地の清掃を行い、スコップで深く耕しておきましょう。

★庭木・果樹 落葉する庭木の整枝・剪定の時期です。サクラ類は太い枝を切った場合は、切り口に癒合剤や保護剤を塗っておきます。バラは春に強めの切り返し剪定をするので、越冬前は弱い剪定ですませます。花木の冬囲いは葉が完全に落ちてから行います。アジサイや今年植えた花木は、風よけの冬囲いと土壌凍結しないよう株もとに落ち葉や腐葉土を敷いてあげます。ブドウはコンパクトに切り詰め、凍害を受けないようコモで冬囲いをしておきましょう。